



じゃがいもずきん「ききぼう」くん

防災ワンポイント 第13回 暴風雪の知識

例え雪が降らなくても、積もった雪が風で飛ばされる「地吹雪」が発生することがあり、視程障害や吹き溜まりに繋がります。そのため、雪だけでなく風の情報も得る必要があります。今回は暴風雪警報（風雪注意報）の発表基準や暴風雪に遭遇したときの対処法などをとめました。冬の期間は車にスコップ、防寒着、上着、長靴、食料、飲料水、けん引ロープなどを積み込んで、携帯電話をお持ちの方は、必ず持って出かけましょう。

●風雪注意報、暴風雪警報の発表基準

風雪注意報は、雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。また「強風による災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害（見通しが利かなくなること）などによる災害」のおそれについても注意を呼びかけます。

同じように、暴風雪警報は雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。また「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけます。

中標津町の風雪注意報・暴風雪警報の発表基準は次のとおりです。

	風雪注意報	暴風雪警報
発表基準	平均風速10m/sで雪による視程障害を伴うとき	平均風速18m/sで雪による視程障害を伴うとき

アメダス（気象観測システム）「中標津」の昭和56年～平成22年までの平均風速は2.3m/sです。平均風速が8m/sを超えると、小型車の目線の高さ以上の雪が舞い、視界が悪くなります。そのため、注意報程度の風でも通行止めが発生することがあります。

●車を運転中に暴風雪に遭遇したら

- ①道の駅やコンビニなどで天気のリcoveryを待ち、気象情報や道路情報を確認します。
- ②雪の深さが20cmになると車の発進が困難です。立ち往生してしまった場合、後続車の追突を避けるため、ハザードランプの点滅や停止表示板を設置し、ロードサービスや近くの商店・家に救助を求め避難します。救助を求められる家などが近くになく、避難もできないときは、警察・消防に救助を求めましょう。
- ③車内で救助を待つ間は、下記のように排気ガスが車内に入るおそれがあります。原則エンジンを停止させ、防寒着などで体温の低下を防ぎましょう。

出展：寒地土木研究所

換気 のつもりの外気導入で かえって危険になることも

外気取入口がふさがった状態で外気導入にすると、エンジンルームなどから車内に排気ガスを吸い込んでしまう場合があります。

■車内に入り込む排気ガスのイメージ



内気循環 でも排気ガスは 車内に入り込む

車にはいたるところに隙間があるため、内気循環にしている場合でも排気ガスは車内に入り込みます。



北海道では注意報や警報発表時にメール配信するサービスがあります。積極的に活用しましょう。

北海道防災

検索

(PC) <http://www.bousai-hokkaido.jp/>
(携帯) <http://i.bousai-hokkaido.jp/>



気象庁から「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」といったキーワードを使った情報が発表されたときには厳重に警戒し、外出は避けましょう。

詳しくは、総務課 防災係まで。